

SHOW HEY シネマールム

★★★

妻よ薔薇のように 家族はつらいよⅢ

2018年5月25日/日本映画
配給: 松竹株式会社/123分

2018 (平成30) 年4月25日鑑賞

松竹試写室

Data

原作・監督・脚本: 山田洋次

出演: 橋爪功/吉行和子/西村まさ

彦/夏川結衣/中嶋朋子/

林家正蔵/妻夫木聡/蒼井

優/小林稔侍/風吹ジュン

/笹野高史/木場勝己/藤

山扇治郎/徳永ゆうき/笑

福亭鶴瓶

■ショートコメント■

◆第1作のテーマを「熟年離婚」、第2作のテーマを「無縁社会」とした山田洋次監督の『家族はつらいよ』シリーズ第3作のテーマは「主婦への賛歌」。そのため『妻よ薔薇のように』をメインタイトルにしたが、第3作のテーマのより具体的展開は、妻の「家出」になる。今ドキ三世代6名が1つの家で暮らす家族は珍しいが、あるきっかけでそのド真ん中に座っていた主婦、平田史枝(夏川結衣)が家出してしまったら・・・?

「69+1」歳問題を抱えている男の私には少し女性目線に片寄りすぎの感がしないでもないが、チラシに書いてあるとおり、本作は「全てのダメ夫を持つ女性が笑って共感、しみじみ泣けて励まされる。山田洋次監督が贈る、家族のラブストーリー」だ。

◆本作は山田洋次が演出(監督)だけでなく、原作、脚本も書いたそうだから、まずはそのエネルギーに脱帽。しかし、あまりにも定番通り、予想通りのセリフとストーリー展開は「予定調和」があまりにも目立ってしまう。もちろん、それは本シリーズの前提としてオーケーなのだが、これをわざわざ映画で?という疑問が、ついチラホラと……。つまり、このレベルの「ホームドラマ」を楽しむのなら、わざわざ映画館に行かなくても自宅ですぐに食事しながら、新聞を読みながらで十分なのでは……。?ということだ。

1931年から長期にわたって人生経験を重ねてきた山田洋次監督ならではの「まとめ能力」には感心させられるものの、1つ1つのセリフやエピソードの展開はTVのホームドラマと同じレベル……。?ここ2週間にわたってBS放送で『ロッキー』シリーズを鑑賞してきた私は、『ロッキー』シリーズは映画館で見るべき映画だという確信があるのに対し、本作はTVで十分だと思ってしまったが……。

2018 (平成30年) 年5月1日記